

福岡県の主な農産物の生産状況

令和2年4月15日現在
(専技情報より抜粋)

◇早生水稲（夢つくし、コシヒカリ）◇

田植は4月11日頃から始まり、4月下旬が最盛期で、5月上旬頃まで行われます。苗は、病害も見られず生育良好です。

移植前3～5日に苗をハウス外に出し、苗を馴化しましょう。田植後、低温や風が強い場合には深水で苗を保護しましょう。

◇麦類◇

生育期間中が高温で経過したため、出穂期は平年に比べて11～16日早く、生育が早かった前年より小麦で5～8日早く、大麦で2～3日早くなっています。播種時期や圃場の排水性の違いにより熟期のバラツキは大きいです。穂数は平年並み～やや多く、生育は概ね順調です。

4月中下旬までに赤かび病対策や穂揃期追肥作業が行われる予定です。収穫は、大麦で5月10日頃から、小麦で5月20日頃から始まる見込みです。

「ラー麦（ちくしW2号）」「ミナミノカオリ」は、速やかに穂揃期追肥を施用しましょう。赤かび病に弱い品種や、降雨や曇天が続く多発生が予想される場合は、1回目防除の7～10日後にもう一度防除を行います。収穫期が早くなることが予想されるため、共乾施設等の荷受計画を早めに作成しましょう。

◇イチゴ◇

3月の高温傾向で果実の成熟が早く、3番果房の収穫は3月末～4月上旬でほぼ終了しています。4番果房は平年並～やや早い生育で、収穫が開始されています。低温傾向のため出荷が出揃うのは4月下旬頃で、出荷終了は5月中下旬の見込みです。ハダニ類の発生は多いです。

親株の生育は、平年並～やや早くなっています。

果実の品質低下防止のため、換気の徹底や適期収穫を行い、収穫後の果実は早めに低温の場所へ移す等の管理を徹底しましょう。また、親株の炭疽病、ハダニ類等の病害虫対策、肥培管理等を徹底しましょう。

◇冬春トマト◇

促成栽培の中心作型である9月下旬定植は、8～9段果房を収穫中です。4月の気温が低く、果実の着色がやや遅い傾向です。収穫後半に向けて草勢維持が図られており、出荷は4月下旬以降、緩やかに増加する見込みです。

コナジラミ類、灰色かび病の発生が見られ、9月にかいよう病が発生した農家1戸の別のほ場で発生が確認されています。

草勢や品質維持のため、肥培管理や温度管理を徹底し、かん水は急激な乾湿差による裂果を防ぐため、少量多回数で行いましょう。また、コナジラミ類・かいよう病等の病害虫対策を徹底しましょう。

◇ブドウ◇

12月加温栽培の「デラウェア」は着色期で、5月1半旬から出荷見込み、12月～1月加温栽培の「巨峰」「ピオーネ」は果粒肥大～着色期で、発芽の揃いも良く生育は概ね順調です。2月加温栽培の「巨峰」「シャインマスカット」が開花～結実期、トンネル・露地栽培が発芽～展葉期で、生育進度は前年よりやや遅くなっています。

着色期を迎えている作型は、ハウス内温度管理と枝管理を徹底し、着色等の果実品質の向上に努めましょう。また、開花、結実期を迎えている作型は、灰色かび病の発生に注意しましょう。

◇スモモ◇

ハウス栽培は現在、幼果期です。主力品種の「大石早生」は、暖冬による休眠不足で花数が減り、平年より結実量が少ないです。他の品種は平年並の結実量です。

露地栽培は現在、落弁期です。「大石早生」は、ハウス栽培ほどではありませんが、園地によって平年より花数が少ないです。

結実確認後、数回に分けて摘果を実施し、果実肥大を促しましょう。また、余計な枝の切除や摘心を行い、園内の通風採光を図りましょう。

◇施設ギク◇

4月出荷作型の生育は順調ですが、3月下旬から白さび病の発生が増加しています。8月出荷作型の夏秋ギク「精の一世」「フローラル優香」の定植が4月下旬から始まります。

ハウス外からの害虫の飛び込みに注意し、アブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類等の害虫と白さび病の対策を徹底し、ウイルス病が発生した株は除去しましょう。

◇茶◇

「やぶきた」の萌芽期は4月2日で、平年より3日程度早いです（八女分場）。八女地域平坦地の摘採は、4月13日頃から開始です。

新茶初入札は、4月16日（昨年と同日で、平年より2日早い）です。

今後の生育は気象条件により著しく変動することがあるので、芽の生育状況を十分に把握し、適期に摘採しましょう。

◇畜産◇

豚枝肉価格は、内食需要の活発化により、前年と同程度の水準です。

鶏卵価格は、内食需要の高まりにより、前年比116%と上昇しています。

和牛去勢枝肉価格は、新型コロナの影響が深刻で、平成26年12月以来久しぶりに、2,000円を割り込んでいます。

CSF（豚コレラ）の発生が続いており、毎日の家畜の健康観察の徹底、異常の早期発見・早期通報、農場の衛生管理を徹底しましょう。また、季節の変わり目に当たり肺炎等の発生に留意しましょう。